



雪をかぶった米塚・1971年3月（熊本日日新聞社提供）



土塁・2004年

2

2010
月

阿蘇で発見！「万里の長城」

米塚の山頂からたてに土が盛られた「土塁」は観光客の目にもとまります。
土塁は、牧野の境界を明確にしたり、草原を放牧地や採草地に分けて利用するため、昭和初期に構築されました。多くの人々によって作られ、その総延長は阿蘇郡市全体で500km以上ともいわれます。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 建国記念の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						



草原環境学習の推進

環境省では、NPO 法人九州バイオマスフォーラムが進める野草紙プロジェクトと連携して、草原環境学習を進めています。子どもたちは、草原の草から卒業証書を作りました。





野焼きに向かう人々・1990年代後半 (大滝典雄氏撮影)

3 2010
月

野焼きが告げる阿蘇の春

毎年、春の彼岸の頃に一斉に行われる野焼きは、阿蘇の風物詩にもなっています。
火を扱う大変危険な作業には、先人から受け継いだ知恵や技を持つ集落の人が総出であたります。
そしてまた野焼きが阿蘇の春を告げます。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 春分の日	22 振替休日	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

野焼きの再開

環境省では、2004年度から、野焼きが行われず放置されていた牧野で野焼き再開の支援を行っています。
これまでに5牧野で、合わせて約150haの草原の野焼きが再開されています。

